

# 番2学年通信

2019年6月21日(金)  
上田市立第五中学校  
2学年会  
第9号 文責 中田光政

## 随所に主となれば、立处皆真なり

私は人は誰でも『自分自身の人生』という舞台における主人公である、と思っています。先日の上小大会では部の全員が主人公となって劇的な展開を迎えた人も多いでしょう。結果がどうであっても、ドラマティックな展開に立ち会えることは価値あるものだと思います。野球部では2試合目で強豪校とぶつかりました。展開は前半すでにワンサイドゲームになるかと思うほどの点差でした。0-6で強豪校の圧勝、大人たちの脳裏にコールドゲームの文字が浮かびます。嘆息さえ消え行きそうな青空が、冷徹にすら思えました。しかしチームは諦めなかった。その後、なんと一回の攻撃で8点をとったのです。その時私はその場所にいました。思わず涙するような……体の奥底から全身が震える、そんな感覚を得ました。魂が揺さぶられるというのはこんな事を言うのではないか。そう感じたほどです。明らかに彼らはドラマの中にいるのだな、と思いました。

人は誰でも展開を変えるチャンスを持っている。けれど、それを迎えることができるのは『主人公』である人だけだと私は思っています。少し渋い話になるかもしれませんが、禅のことばには「随所に主となれば、立处皆真なり」というものがあります。これは「どんな社会にいても、どんな場所であっても、自分が主人公となって、積極的に物事を熱心に行うなら、そこでの生き様はすべて真実となる」という意味の言葉です。これから職場体験に向けて、自分が主人公である自覚を持ってほしいと思います。学校の時間の流れはとても速いです。その行動を、主人公は行かな？ この時、物語の主人公ならどうするかな？など考えながら、自分自身の舞台の主人公として、学校生活を過ごしてほしいと思います。

## 職場体験事前講座が開かれました

6月19日(水)の一時間目にあつた

ジョブカフェ信州出前講座(講師:白石真樹さん)ですが素晴らしい態度で聞くことができていました。

特に発言ですが、積極的に手が上がっていました。

この積極性も職場体験では必要だと思います。

自分から率先して多くのことを学ぶ。

そんな体験に出来れば良いですね。また、講座では

『良い会社の条件』として『ルール、マナーを守る』

『働きやすい』『やりがいがある』『成長できる』

が上げられていました。そして『クラス・部活』も

一緒だと話されていました。講座での挙手発言から『自分が部活や日常で大切にしていること』がそのまま『社会に出たときに大切なこと』につながると実感した人もいたのではないのでしょうか。職場体験で得たチカラが学校生活で活かせる。また、部活で得たチカラを職場体験に活かす。『全てが繋がっている』と思いながら一つ一つ丁寧に行えば、より多くを得ることが出来ると思います。職場体験でも



自身が『主人公』であると思いながら、あなたの『舞台』を作ってほしいと思います。期待しています。

**東信大会も声を出していきましょう！**



**今後の予定**

日	曜	①	②	③	④	⑤	⑥	行事関係
24	月							東信大会予備日① 計画休業
25	火	1	2	3	4	5	6	東信大会予備日②
26	水	21	22	23	24	25		<b>集金日</b>
27	木	11	12	13	14	15		一学期期末テスト
28	金	41	42	43	44	45		一学期期末テスト
29	土							
30	日							
7/1	月	1	2	3	5	6		
2	火	11	12	13	14	15	相	教育相談① PTA 評議員会②18:30-
3	水	21	22	23	4	相		教育相談②
4	木	41	42	43	44	45	生	
5	金	31	32	33	34	35	36	
6	土							
7	日							

**6月26日に集金日があります**

**7月2日から教育相談が始まります**

**6月27日に一学期期末テストがあります**